

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		さがみはら <sup>こくさい</sup> 国際 <sup>けんとう いんかい</sup> プラン <sup>だい かい</sup> 検討委員会 (第7回)				
事務局 (担当課)		シティセールス・親善 <sup>しんぜんこうりゅうか</sup> 交流 <sup>でんわ</sup> 課 電話042-707-7045 (直通 <sup>ちよくつう</sup> )				
開催日時		令和元年 <sup>ねん</sup> 9月 <sup>がつ</sup> 13日 <sup>にち</sup> (金 <sup>きん</sup> ) 18時 <sup>じ</sup> 30分 <sup>ぶん</sup> ～19時 <sup>じ</sup> 40分 <sup>ぶん</sup>				
開催場所		相模原市役所 <sup>さがみはらしやくしょ</sup> 本館 <sup>ほんかん</sup> 2階 <sup>かい</sup> 第1 <sup>だい</sup> 特別 <sup>とくべつかい</sup> 会議 <sup>ぎしつ</sup> 室				
出席者	委員	10人 <sup>にん</sup> (別紙 <sup>べっし</sup> のとおり)				
	その他	0人 <sup>にん</sup>				
	事務局	5人 <sup>にん</sup> ( <sup>しょうがいぶ</sup> 渉外部 <sup>ちょう</sup> 長、シティセールス・親善 <sup>しんぜんこうりゅうか</sup> 交流 <sup>ちよう</sup> 課 <sup>ほか</sup> 長、他 <sup>にん</sup> 3人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	ひとり 1人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由						
会議次第		1 <sup>かいかい</sup> 開会 2 <sup>だい じ</sup> 第3次 <sup>こくさい</sup> さがみはら <sup>あん</sup> 国際 <sup>あん</sup> プラン (案) について 3 <sup>た</sup> その他				

# 審 議 経 過

第7回検討委員会について、主な内容は次のとおり。

( は委員の発言、 は事務局の発言)

## 1 開会

## 2 第3次さがみはら国際プラン(案)について

委員からの意見を踏まえ、本委員会から市長へ答申する「第3次さがみはら国際プラン(案)」として確定することとなった。主な意見等は次のとおり。

第3次国際プランの位置付けを示す図の中で、市と、その他の全ての団体間で協働連携を図るイメージが示されているが、これらの団体は全て並列でつながるようなイメージを持っていた。

この計画は行政計画であり、社会計画でもある。行政計画という意味では行政が主導的に取組まなければならないし、社会計画という観点から捉えると、皆で一緒に取り組むということになる。私は現状の図でよいと思う。

SDGsとは何か。

SDGsは、2030年に向けての国際的な目標。総合計画においてもSDGsが位置付けられることになっていることから、整合を取りつつ、分かりやすい形で表記する。

日本語指導が必要な児童・生徒の状況に関する表が分かりづらい。  
修正する。

施策1-1「地域における相互理解の推進」の中で、国際交流員の活用という表記があるが、「活用」ではなく、国際交流員や市民団体との「連携」ということで意味が伝わるのではないか。「活用」という言葉は上から目線のように感じられる。

国際交流員は市が非常勤特別職として任用しているため「連携」はなじまない。

表現については事務局に一任する。

施策2-1「日常生活の支援」の中の、「教育分野における支援」について、二つ目に記載の取組が教育相談やカウンセリングに限定されているが、これを「学習支援」の意味合いも読み取れる表現とできないか。また、三つ目に記載の取組に

についても、市民団体以外の団体に対しても環境づくりを行う形での表現とできないか。

検討する。

以下、本委員会の振り返り（各委員からのコメント）

本委員会での議論を踏まえ、自身の団体では外国人労働者を雇用する企業向けの研修を行った。計画は作って終了ではない。行政には、第3次国際プランにおける基本理念の実現に向け、具体的な取組を進めてほしい。

本委員会に参加することで、さまざまな気づきを得られた。自身にとっても貴重な経験ができる機会であった。

人口減少社会を迎える日本において、外国人は地域を支える切り札になると感じている。行政においては、他市をリードするような取組を進めてほしいし、自身も協力していきたい。

外国人市民として、外国人のことがよく見えるプランにしようと、たくさん意見を述べた。これからも、相模原市の国際化がさらに進むよう、さまざまな場面を通じて発言していきたい。

外国人支援を続けて長い期間が経つが、日本社会は随分変わってきた。今後も日本社会の変化をじっくりと見ながら、外国人とともに暮らしていきたいと思う。

広報さがみはらで外国人に関する特集記事が掲載されたり、市の観光情報が英語で掲載されたりするなど、国際プランに基づく取組を進める中で、相模原市も随分変わってきたと感じる。

プランができてゴールではなく、これからがスタートである。皆さんや自身の努力が必要である。

外国人のために少しでも役立ちたいということで、この委員会に参加した。日本語の理解に不自由せず、このような場で意見が言える外国人はほんのわずかである。行政には、このプランの成果が外国人に届くように取り組んでほしい。

入管法が改正され、外国人労働者は想像以上に相模原市に来られるのではないかと感じている。経済界としても、こうした方々が快適で楽しく暮らせるよう考えていきたい。

外国人を呼び込まないと成り立たない自治体は、もっと先進的な取組を行っているところもあるようだが、相模原市はそこまでの状況下にはないと感じている。その中で、第3次国際プランを作ったわけだが、細かいところまで配慮が行き届いたものになったと思う。できる限りのポイントを集め、それを整理して分かりやすくまとめられたのではないかと感じている。

3 その他  
なし

以 上

さがみはら国際プラン検討委員会（第7回）委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	石川 敏美	公益財団法人 相模原市産業振興財団 常務理事		出席
2	川上 宏	公益財団法人 相模原市体育協会 常務理事		出席
3	北村 美仁	一般社団法人 相模原市観光協会 専務理事		出席
4	金 愛蓮	さがみはら国際交流ラウンジ 運営機構 代表		出席
5	熊谷 晃子	独立行政法人 国際協力機構 横浜センター所長		欠席
6	鯉田 哲子	公募委員		出席
7	坂本 堯則	相模原市自治会連合会 会長		出席
8	佐藤 雲美	公募委員		出席
9	柴田 マリーグレイス	公募委員		出席
10	杉岡 芳樹	相模原商工会議所 会頭	副委員長	出席
11	なかざわ 隆	相模原市立小学校長会 鹿島台小学校長		欠席
12	牧田 東一	桜美林大学 教授	委員長	出席